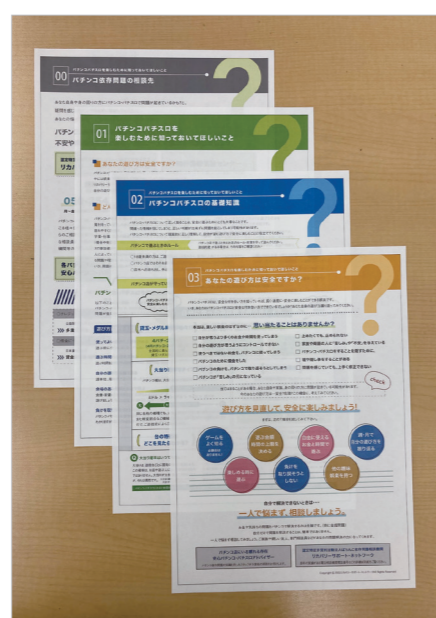


特命助成

「ぱちんこ依存問題に関する相談および回復支援」事業

パチンコ・パチスロの遊技に関する依存や 依存関連問題解決のための支援や啓発に取り組む

遊技などの娯楽が個人や社会に対して持っている価値はかなり高いが、その一方で、過度なのめり込みなどの負の問題が生じる危険性がある。そうした負の影響を最小化し、個人や社会にとって安全な社会資源となるよう、遊技参加者、事業者、社会に対する依存問題の啓発や回復支援などの具体的な対策に長く取り組んでいる。



パチンコ・パチスロユーザー向けの依存問題啓発用のポスターと啓発ツール

娯楽の持つ負の影響を最小化し、 安全で有用な社会資源となるために

沖縄県中頭郡西原町に拠点を置いて活動している認定NPO法人「リカバリーサポート・ネットワーク」は、2006年に全日本遊技事業協同組合連合会の支援を受けて発足した団体である。同法人では、遊技業界ならびに民間や公的機関、研究・医療機関などと連携・協力しながら、パチンコ・パチスロなどの利用者と、それに関係する人々に対して、娯楽・遊技への過度ののめり込みに関する相談、啓発、予防等の事業を行っている。いわゆる「のめり込み」によって生じる健康被害や社会的損失はかなりのものであり、この問題を未然に防止することは、広く社会全体の利益に寄与することにつながるという考えのもと、様々な活動に積極的に取り組んでいる。

娯楽が個人や社会にもたらす価値は高いが、一方で

過度ののめり込みや依存などの「負」の問題が生じる危険性がある。こうした娯楽の持つ負の影響を最小化し、個人・社会にとって安全な社会資源となるよう、遊技参加者、事業者、社会に向けて具体的な啓発や対策を推進していくことが求められるが、依存問題に関しては、パチンコなどの遊技に対する社会の負のイメージ、のめり込みに対する誤解や偏見、事業者の問題意識や理解の低さなどによって、世界的に標準とされていることが、日本ではまだ十分に理解されていない側面がある。そのため、同法人をはじめ、依存問題に取り組む団体や機関の多くは、人材確保、活動資金の確保などの面で苦労を続けているのが現状である。こうした活動を遊技業界として支えるために、POSCでは様々な支援を行っているが、同法人の活動に対する継続的な支援も、その一環である。

依存問題の相談や回復支援を 目的に様々な活動に取り組む

同法人ではPOSCからの助成を受け、ぱちんこ依存問題に関する相談および回復支援を目的に、年間を通じて主に下記のような事業に取り組んでいる。

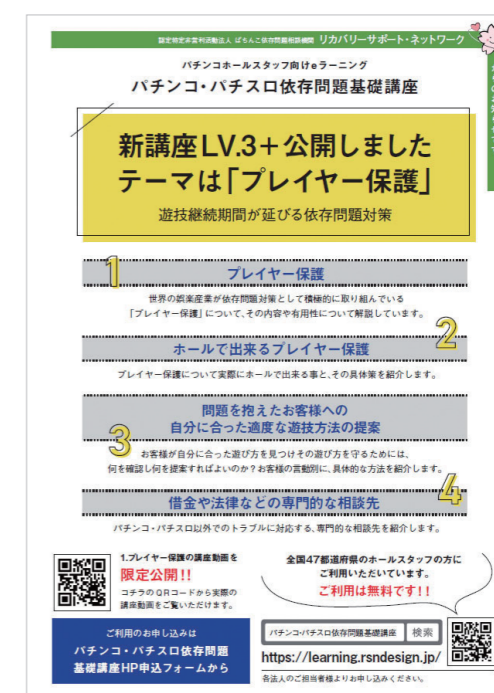
- ①電話・対面相談事業、②広報・啓発事業：ニュースレター発行、啓発リーフレットやポスターの作製・配布、自己診断アプリの提供、パチンコホールスタッフ研修用のeラーニングシステムの開発・提供など、③支援・連携活動事業：公的研究への協力、回復施設などとの連携・協力、④企画開催事業：セミナーや講演会などの企画開催、⑤研修活動事業：相談技能などの研修、⑥資料作成・企画：出版事業など。また、依存問題を抱えた人たちにより早期

に介入できるよう、遊技産業からの出向者・研修者、遊技産業での勤務経験を持つスタッフなどを対象にしたトレーニングを実施しているが、その受講者たちが自分たちできめ細かい相談対応を行うまでになってきた。さらに、同法人では遊技業界と協働して、「安心パチンコ・パチスロードバイザー制度」の創設の推進役にもなった。こうした活動は海外の研究者からも高く評価されている。


電話相談のデータは1年ごとにまとめて分析し、その結果を報告書として冊子やPDFデータにまとめ、無償で配布しているほか、他の学術研究者とともに学術誌などで発表したり、カンパリング関連の国際学会において報告したりしている。また、遊技産業の研修講演、視察などにも活用するなど、その成果を遊技産業内外に広く伝えている。



ホールスタッフがeラーニングで学べるパチンコ・パチスロ依存問題基礎講座を実施



助成団体: 認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク <http://rsn-sakura.jp>



POSCの助成は未来を支える社会資源の育成に役立っています

社会的に重要な課題であっても、先鞭が無いために民間でしかできない非営利活動はたくさんあります。しかし意欲や能力があっても、非営利活動とそのチャレンジを担う人々に対する支援の文化が脆弱な日本においては、活動が育たず、消えてしまうプロジェクトも数多くあります。POSCの助成は、こうした活動を支える重要な役割を果たしています。

認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク
代表理事 西村 直之 さん